

鵜住居区復興まちづくり協議会・地権者連絡会
③新川原町内会、日向振興会、外山町内会 議事要旨

記

- 日時 平成 26 年 4 月 13 日（日）18 時 00 分～20 時 30 分
- 場所 長内集会場
- 次第

1. 復興まちづくり協議会会長（代行：佐々木憲一郎、代理：古川議員）挨拶
市長挨拶
2. 鵜住居川水門及び片岸海岸防潮堤について（岩手県沿岸広域復興局）
 - 事業工程は、設計が進み地盤が悪いことが明らかになり、液状化対策等が必要なため、事業期間が長くなる説明をしました。（当初平成 27 年完成予定から平成 29 年度末完成予定に変更。）
 - 整備を行う鵜住居川水門、片岸海岸防潮堤の整備計画概要について説明をしました。

意見交換について

防潮堤の高さ 14.5m は決定か？ 水門の高さは何 m か？

→ 防潮堤の高さはまちづくりと一体になった計画で、高さは 14.5m に決定しております。水門も防潮堤と合わせて整備します。

変更の余地はないのか？

→ 鵜住居地区の市街地は高田のように 7～8m、津波を想定したかさ上げをしないで進めることを今まで話してきました。まちを守るために 14.5m で進めてほしいです。平成 29 年 4 月には学校が開校します。これ以上遅れないようやってほしいと強く思います。

土地収用で面積の 7 割程度を確保したとのことだが、他の 3 割はどうなっているのか？ 完成も平成 27 年度と聞いているが 2 年遅れるのか？

→ 土地収用の手続等を進めています。面積で 7 割、件数で 8 割取得済であり、残りは契約手続や収容手続を進めています。国の支援を受け、残りも早く取得し、工事も早く発注したいと思います。

防潮堤の図面を見て気づきましたが、鵜住居川は防潮堤が完成すれば、それに沿って流れる、または海に対してまっすぐ流れるか？ 川の流れるは自然では砂が戻ってきて左に蛇行する。根浜に砂が少しずつ戻ってきているのではないか？

→ 水門から海に対してまっすぐ流れる計画になっています。現地の片岸側に砂が付いていることは把握しており、砂については確認させていただきます。

(副市長) 地域で砂が戻ってきてほしいという要望があり、市で発注し、勉強を始めています。海底を調査し、上流からの流れや過去の砂浜、砂が何年で戻るかという勉強をこれから1年かけて行います。どうしても砂を戻してほしいなら事業で行わなければならない、それは県の担当なので別途相談が必要です。しかし、現状は片岸に砂が付いており、鮭にとって良い環境になるかなど、海の中の壮大な動きをもう少し勉強する時間がほしいと思います。

3. 事業のスケジュールについて（釜石市都市整備推進室）

- 市から土地区画整理事業の進捗状況、土地区画整理事業スケジュールの見直しについて説明をしました。
- UR都市機構から工事計画等（いつ頃から土地が使えるようになるかなど）について説明をしました。

意見交換について

区画整理で自分の近所が一番遅れる計画となっている。消防局前に自宅があるが、平均1.7mと聞いた盛土は、自宅の近所ではどのくらいか？

→ 1.0m弱から2.0mです。

今の家を補修し、現在住んでいる。盛土すると今の家では住めなくなるが、補償はされるか？

→ 高さ関係も今細かい計画をしています。なんとか動かさずに済むよう下水処理も含めた検討を行います。しかし、逆勾配で処理できないなど住めなくなれば、補償も含めて相談させていただきます。

→ どのくらい盛土するかを示すラベルを電柱に貼る準備をしています。ご確認いただきたいと思います。

鵜住居川・長内川の堤防の高さと盛土の高さの落差がどうなるかについて、説明してほしい。

→ 鵜住居川については、水門から上流では堤防の高さは現状と変わらないです。盛土後の高さや堤防の高さの差は場所によって変わりますが、1～2m程度堤防のほうが高いです。丁張で盛土の高さを示し、計画図面に落として提供し、お知らせします。

壊れた堤防の改修は現状の高さで行われるということが、J R山田線鉄橋付近の河川敷には堆積物が多く、大雨時の氾濫を心配している。鶴住居川もかなりの堆積物があり、降雨時の河川氾濫対策も検討してほしい。

→ 県内には多くの河川があり、すぐに全部を対処できませんが、少しずつでも堆積物は取ることにしており、検討したいので一番溜まっているところを教えてください。

以前農地と宅地はそれぞれ集約すると聞いたが、今でも変化はないか？

→ 農地ですが、畑は現位置近くに換地します。また、田んぼは水路が必要なため、鶴住居駅東に集約換地する予定です。営農意向がある方にはそうすることを説明をさせていただきました。

私が聞いた土地だが宅地と農地が一体になっており、宅地は宅地、農地は農地で別に持って行かれると分散される。そこは周辺で一番低い土地で、震災で瓦礫が集まり、一緒に土を持って行かれたので、現状はかなり低くなっている。震災後は大雨が降ると水浸しになるので起工承諾書は出したが、仮換地が終わるまで農作物を作れないのか？

→ 一般的には仮換地指定を行うと、かさ上げや道路整備を行いますので、どこかで農業(作付け)を止めさせていただくことになります。仮換地指定の説明の中で、お話しできるよう整理します。なお、現時点では営農しても良いですが、整備の段階ではお話しをさせていただくことになります。

根浜に行く区画整理沿いの道路、長内川沿いの道路は、区画整理の対象区域内だと思うが、どんな道路になるのか？ また、そこから学校までの山沿いの道路はどうなるか？

→ 川の東側道路は区画整理区域に編入しており、整備します。その北側の山沿い道路は整備区域外であり現道のままですが、どう整備するかを検討中です。まずは、まちの中を進めますので、今は絶対やりますとは言えない状況です。

国道整備は測量が4月いっぱいと聞いているが、いつ頃かさ上げされた道路が通るのか？ 家を建てるのは平成29年度と聞いたが、それまで家は建てられないのか？

→ 国道は測量調査が終わり設計をしており、今年度(平成26年度)上期に整備に入る計画です。区画整理をしており、国道もそれに併せて整備するので、巾杭や中心線を設置し、整備を進めていきます。国道工事に入るとブロックごとに設置していきます。

→ 国道整備も区画整理に併せて行いますので、国道に当たる土地をお持ちであれば、再度国道に当たる土地に換地されるのが区画整理の原則であり、同じような土地に換地されます。下水処理場周辺を先に造りますが、駅周辺は早いところで平成27年12月頃から順次宅地として引き渡しできます。寺前地区は平成28年12月

ぐらいから引き渡しできる計画を立てています。

新川原地区は区画整理の事業区域で線引きされています。区域外では住宅建設ラッシュですが、区域内外の高低差はどうなるか？ 落差が大きいところに補償はないのか？

→ 区画整理区域内外で高低差があるのではとのことですが、境界部で大きな段差を付けるのではなく、すり付けを考える詳細設計を今検討しており、近隣の方々にお知らせしていきたいと思えます。

4. 市北部の公共交通に関する検討案について（釜石市復興推進本部事務局）

- ・ 「にこにこバス」の現状と今後の方向性（公共交通のあり方の最適化案）を説明しました。

意見交換について

にこにこバスは予約しないといけないことが問題だと思う。公務員の方には月1回、年数回ノーマイカーデーを実施していただき、公共交通の利用を皆の先頭に立って指導してほしい。茨城県は公共交通に対する意識が強いと聞いたので、水戸市長に手紙を出し、公共交通の住民運動をどうしているかを問い合わせしたら、すぐに返事が来ました。茨城県では県知事が先頭に立ち、委員会をつくり、年2回ノーマイカーデーを作っているようである。公務員が手本を示し、たまには役所への出勤にバスを使用する等皆さんの指導にあたってほしい。

→ 市長：釜石市も年1回ノーマイカーデーを行っていますが、イベント的であり浸透していません。JR山田線の話もありますし、三陸鉄道の全線開通もあるので、バスも含め利用促進を図らなければなりません。バスの運行は、現在国からもらっている補助金で支えているため、今後を考えなければならないと思えます。鉄道が復旧されても乗らなければ運行できなくなるので、鉄道利用と合わせ、バスを利用して駅に来てほしいです。大変ではありますが、まずは役所が先頭に立ち、公共交通を使って出勤することを1日イベントではなく、復旧、復興の状況を見ながら取り組んでいきたい。デマンドの運行も含め、検討課題に加えたいです。

はまと病院に行くのに便利で使う。連絡をしてすぐ乗れば便利だが、帰りはハイヤーの利用になる。何とかあと1台あればと思う。にこにこバスは安くて便利がよいので、皆さんも近所の人に伝え、使うよう教えてほしいと思う。

→ 予約は必要ですが、行く時・帰る時両方の予約ができます。同じ意見も多く、行きのバスの運転席後ろ側に帰りのバスの時刻を表示していますので、ご確認の上、利用していただければと思います。

自分の仮設から見ていると、中村方面から釜石方面に行く路線バスは誰も乗っていないことが度々ある。午後 3 時頃から鶴住居の人は釜石方面に行く人がほとんどいないので、にこにこバスを通して路線バスを廃止すればよいのではないか。

→ 今の提案は、本日も提案した内容になっていますので、今後検討していきます。

(古川議員) 行政が検討するのではなく、皆さんの意見でまとめるほうがうまくいくのではと考えています。思うように運行されていないので、住民が集まり、2 台をうまく利用する方法を考えるのが良いと思います。仮設から県交通停留場までピストン運行してはどうかなど、工夫のしようがあるので、皆さんで使い不自由な点を言って、行政の人たちに改善案を検討してもらえばと思います。

J R 山田線の復旧に関して、山田町で開く集会「三陸沿岸を鉄道でつなぐ市民の集い」をご紹介します。皆さんに興味を持って参加してほしいと思います。